

重要生活機器連携セキュリティ研究会 平成25年度活動計画

2014年1月27日
研究会事務局

Copyright 2014 (c), 重要生活機器連携セキュリティ研究会

1

目次

1. 研究会設立の背景と目的
2. 連携セキュリティの重要性
3. 平成25年度活動(案)
4. 活動スケジュール
5. 提言の目次案
6. 次年度以降の活動イメージ
7. 将来の調査・分析・対策の枠組み(例)

1. 研究会設立の背景と目的

■ 設立背景 ～設立趣意書(案)より～

- 近年ウェアラブルデバイスの進化は目覚ましく、多様化するスマートフォン・アプリ、身体に取り付けられる超小型医療・ヘルスケア機器、目に直接データを投影する電子めがねのなど、人間に密着して生活を支えるデバイスが次々に登場している。一方、ビルや住宅、道路、駅などの空間に設置したセンサーを活用し、人を感じて働き、人に合わせて動くシステムも人々が気づかないうちに普及しつつある。これらのウェアラブルデバイスや**生活空間デバイスの連携**により、**新たなライフキットデバイスの分野が創造**されつつある。
- 今後、家電、自動車、ホームシステム、そして医療へと、その応用分野が拡大され、クラウド上に蓄積される**ビッグデータ**と人の周りで発生する**リアルタイムデータの連携**、生活を支える**ITシステムとライフキットデバイスの連携**により、ライフスタイルを変革するソリューションが予見される。このような家電、自動車、ホームシステム、そしてヘルスケア・医療機器分野において、システム全体としての**信頼性と安全性を維持**し、生命や身体、財産に関わる**脅威から利用者を守る研究開発**が重要となる。
- また、この研究開発成果を活用して生活機器の各産業分野において、これらのシステムの安全性を高めるために、企業の技術者が機能安全(セーフティ)と脅威対策(セキュリティ)の技術を併せ持つ必要があるが、このような人材は生活機器産業に限らず、極めて不足していると懸念されている。このため、**組込みシステムセキュリティ技術者育成が急務**となっている。

2. 連携セキュリティの重要性

■ 連携セキュリティ:

- 生活空間デバイスの連携
 - ビッグデータ(蓄積)と人の周りのデータ(リアルタイム)の連携
 - ITシステムとライフキットデバイスの連携
- **機器間、システム間、企業間、etc**

- **重要生活機器:**
 - 自動車、在宅医療機、スマートハウスなど利用者個人の生命や健康、財産のリスクに直結するネット型組込みシステム機器類
- **連携セキュリティ:**
 - スマホや携帯網を通じてクラウドサービスと連携し、繋がる形で高機能化する組込みシステム自体の機能安全や機能悪用という脅威に対するセキュリティ

Safety



故障・不具合
や操作ミス
からの防御

Security



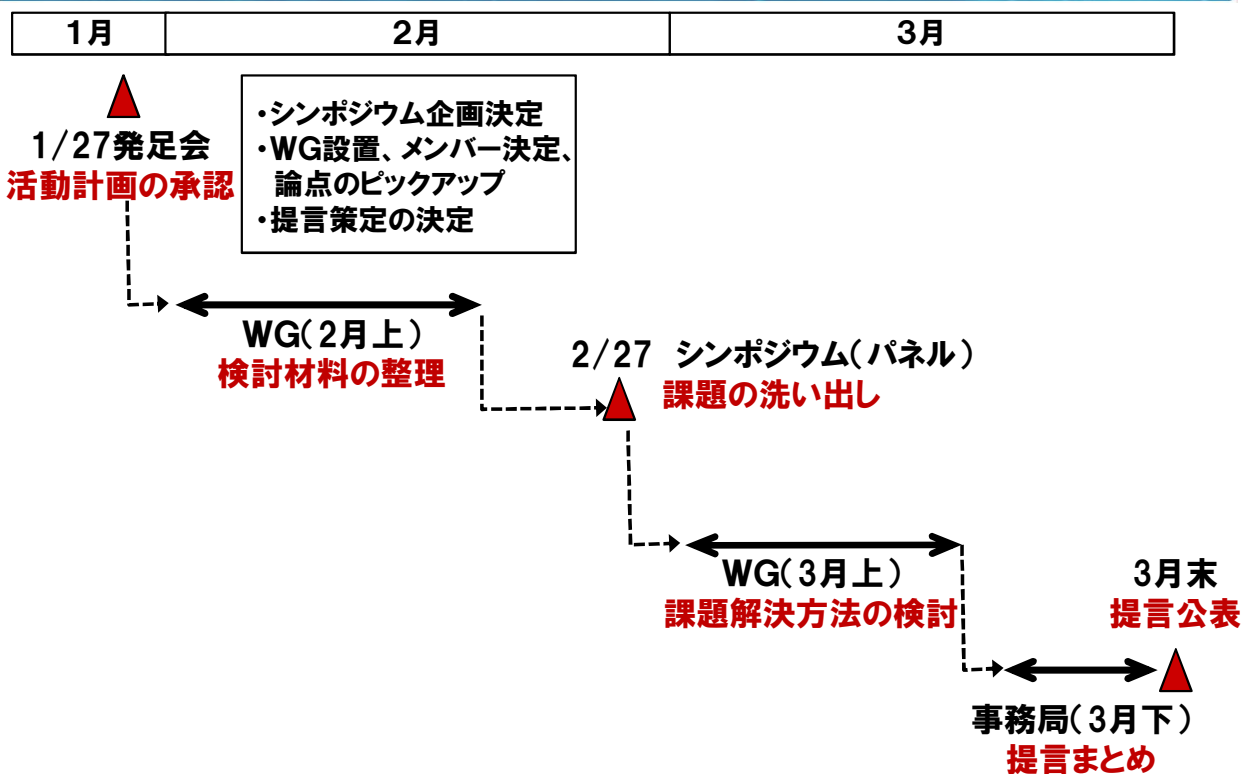
悪意のある
攻撃者から
の防御

が対策急務!

3. 平成25年度活動(案)

- 重要生活機器セキュリティ現状調査
 - 既存の関連調査文献の整理
 - 重要生活機器セキュリティの最新動向調査
 - 自動車、医療機器、住宅機器など
 - 有志メンバーによる分析、検討
 - > 何をすべきか？ 誰がすべきか？ そして、その方法は？
- 提言の策定(3月)
 - 調査結果を元に提言を策定、関連省庁に提出
 - 内閣府、経済産業省、総務省など
- ・シンポジウム開催(2月27日を予定)
「車とITが融合する未来」 - 安心安全な自動車を目指して -
- ・次年度活動計画の策定

4. 活動スケジュール



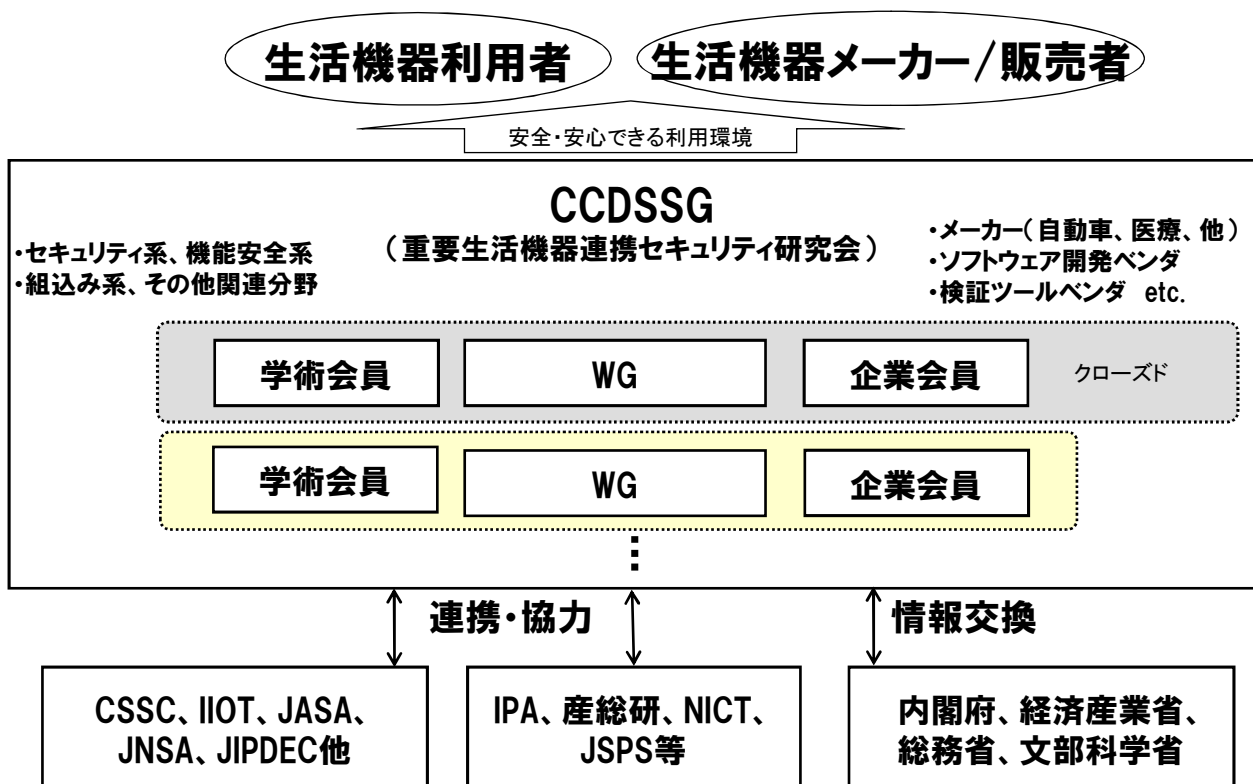
5. 提言の目次案

0. 提言

1. 背景と目的
2. 生活機器に対する脅威の現状
3. 必要とされるセキュリティ対策
4. 優先的に取り組むべき対策とその理由
5. 期待効果

参考資料: 重要生活機器の脅威の現状

6. 次年度以降の活動イメージ



7. 将来の調査・分析・対策の枠組み(例)

